

2026年9月29日(火)から12月20日(日)

○印は11月8日(日)まで、●印は11月10日(火)から展示 *印は個人蔵

岐阜県美術館は19世紀後半から20世紀にかけて活動したフランスの画家オディロン・ルドンの作品を重点的に収集し、世界有数のコレクションを形成しています。ルドンの芸術は日本においても画家や文学者、音楽家など、広くインスピレーションを与えてきました。本展示では、ルドンの黒の世界に魅了された一人である版画家駒井哲郎(1920-1976)のことばによって、ルドンの表現を読み解いていきます。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法素材
オディロン・ルドン	1840-1916	○	あさせ　ちい　きばへい 浅瀬(小さな騎馬兵のいる)	1865	エッチング、ドライポ イント、紙
			おうじょ　　ちい　　せいぼ 王女マレーヌ(小さな聖母)	1883	エッチング、ドライポ イント、紙
			『ゴヤ頌』VI.めざめた時、私はきびしく無情な横顔の叡智の女 み　　み 神を見た	1885	リトグラフ、紙
			カインとアベル	1886	エッチング、ドライポ イント、紙
			キリスト	1887	リトグラフ、紙
		●	とらわれのペガサス	1889	リトグラフ、紙
			『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出に)』IV.かげった つばき　した　くろ　そんざい　はげ　　か 翼の下で、黒い存在が激しく噛みついてた	1891	リトグラフ、紙
			き 樹	1892	リトグラフ、紙
		●	どくしょ　　ひと 読書する人	1892	リトグラフ、紙
			スキヤポデス	1892	エッチング、紙
		○	パルジファル	1892	リトグラフ、紙
		○	つ 憑きもの	1894	リトグラフ、紙
		●	ゆうれいやしき　　わたし　　ひと　　かたち　　りんかく　　みと 『幽霊屋敷』Ⅰ.私はそれに人の形をしたかすかな輪郭を認めた	1896	リトグラフ、紙
			『聖アントワヌの誘惑』第三集 XVII.彼はまっさかさまに深 えん　　お 淵に落ちてゆく	1896	リトグラフ、紙
			ま　　き 曲がりくねった樹		木炭、紙
			げっけいかん　　おんな　　よこがお 月桂冠をかぶった女の横顔		木炭、紙
			はな　　わくぐ　　なか　　ひだりむ　　よこがお 花の枠組みの中の左向きの横顔		木炭、チョーク、黒 鉛、紙
	カインとアベル		油彩、画布		
こまい　てつろう 駒井　哲郎	1920-1976	*	ふつ　こく　ふうけい 仏国風景	1954	エングレーヴィング、 紙
		*	じゅもく　　そびょう 樹木ーオディロン・ルドンの素描による	1956	エッチング、紙
		*	やみ　　くろ　　うま 闇のなかの黒い馬Ⅰ	1969	エッチング、アクア ティント、パステル、 紙